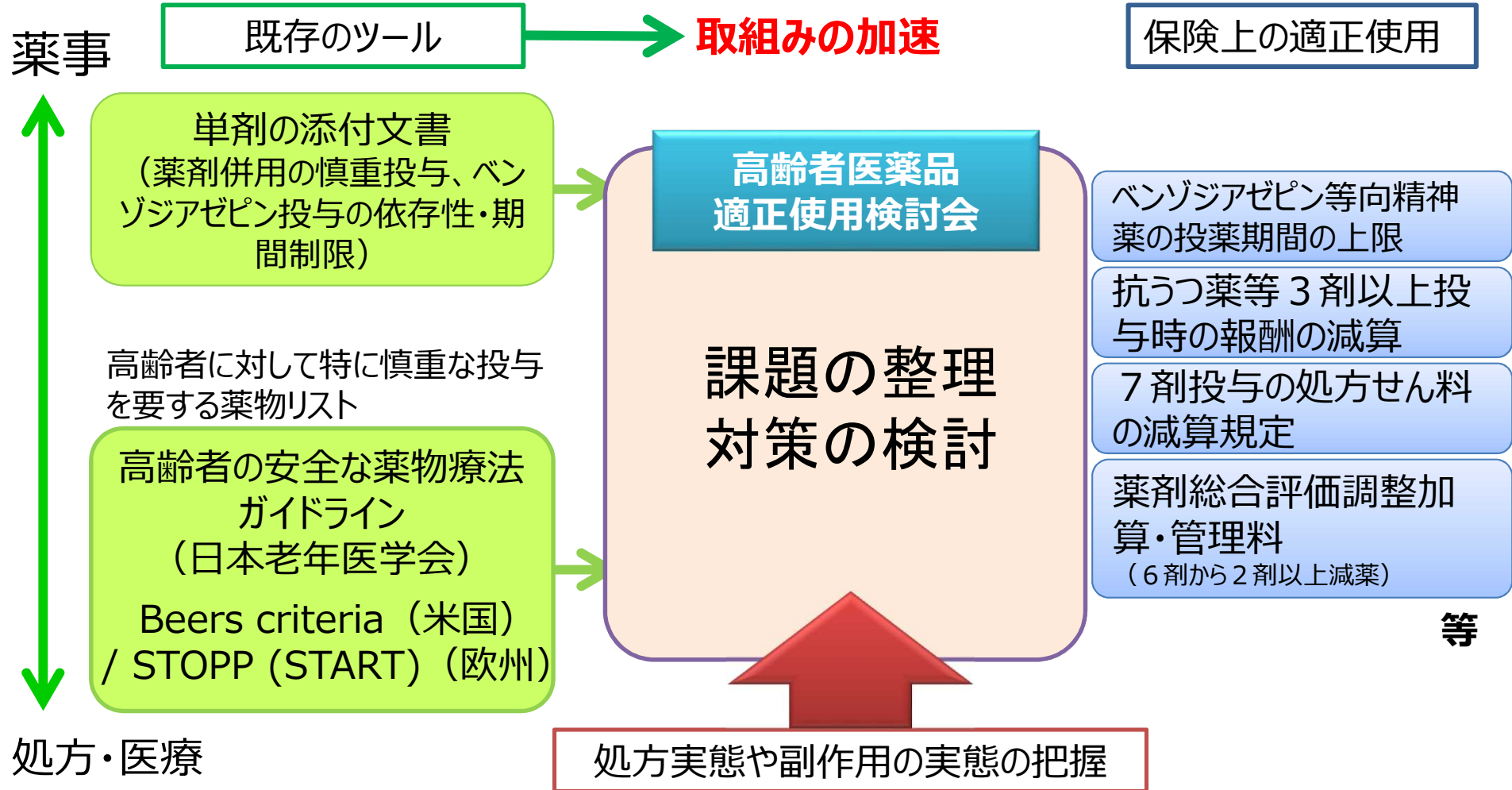


高齢者医薬品適正使用検討会

第12回高齢者医薬品適正
使用検討会
2020.12.17 参考資料 1

平成29年4月設置

向精神薬を含む高齢者の多剤処方について、安全性情報を提供し、関係者の適正使用を加速できないか。



高齢者の医薬品適正使用の指針

- 高齢者の薬物療法の適正化(薬物有害事象の回避、服薬アドヒアランスの改善、過少医療の回避)を目指す。
- 高齢者の特徴に配慮したより良い薬物療法を実践するための基本的留意事項をまとめたガイダンス。
- 診療や処方の際の参考情報を提供することを意図して高齢者医薬品適正使用検討会で作成。
- 65歳以上の患者を対象としながら、特に平均的な服用薬剤の種類が増加する75歳以上の高齢者に重点。

高齢者の医薬品適正使用の指針(総論編)

はじめに

1. ポリファーマシーの概念
2. 多剤服用の現状
3. 薬剤見直しの基本的な考え方及びフローチャート
4. 多剤服用時に注意する有害事象と診断、処方見直しのきっかけ
5. 多剤服用の対策としての高齢者への薬物投与の留意事項
6. 服薬支援
7. 多職種・医療機関及び地域での協働
8. 国民的理解の醸成

別添 高齢者で汎用される薬剤の基本的な留意点 等

※ 平成30年5月29日通知発出「高齢者の医薬品適正使用の指針(総論編)について」

図1 服用薬剤数と薬物有害事象の頻度

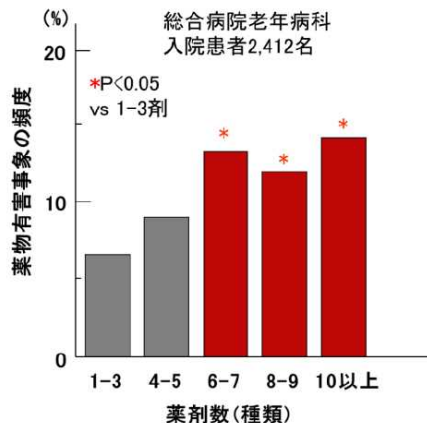
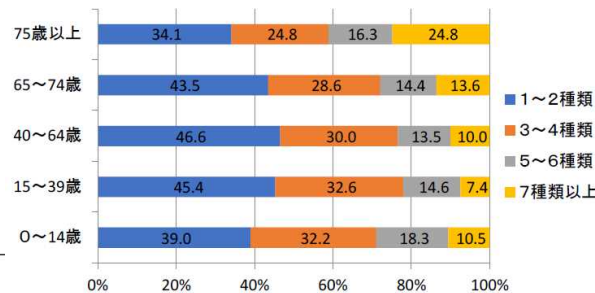


図2 同一の保険薬局で調剤された薬剤種類数(／月)
(平成28年社会医療診療行為別統計)



(高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015(日本老年医学会)より改変引用)

高齢者の医薬品適正使用の指針(各論編(療養環境別))

各療養環境において共通する留意点

- ACPが実践されている場合における薬物療法の適正化
- 非薬物的対応の重要性
- 多職種の役割、連携

第1部 外来・在宅医療・特別養護老人ホーム等の常勤の医師が配置されていない施設

- 処方確認・見直しの考え方
- 外来・在宅医療への移行時における留意点
- 処方検討時の留意点

第2部 急性期後の回復期・慢性期の入院医療

※地域包括ケア病棟含む

- 入院時の処方確認・見直しの考え方
- 入院中から退院までの留意点
- 処方検討時の留意点

第3部 その他の療養環境

(常勤の医師が配置されている介護施設等)

- 入所時の処方確認・見直しの考え方
- 入所中から退所までの留意点
- 処方検討時の留意点

別添1 高齢者で汎用される薬剤の基本的な留意点

別添2 処方見直しの事例集

別添3 入院入所から退院退所までの多職種協働による薬剤調整

※ 令和元年6月14日通知発出「高齢者の医薬品適正使用の指針(各論編(療養環境別))について」

令和元年度の取組事項

○令和元年度： アンケート調査・好事例施設調査

100床以上の医療機関に対する実態調査

好事例施設の取り組み状況を調査

(ひたちなか総合病院、東北大学病院、北九州高齢者薬物療法研究会、三豊総合病院、高知県)

⇒現状の把握と課題の抽出

- ・人員不足で、対象患者の抽出や、検討する時間を作れない
- ・多職種連携が十分でない
- ・お薬手帳がうまく活用されていない
- ・ポリファーマシーであるかを判断することが難しい
- ・医師が自科以外の処方薬を調整することが難しい
- ・病態全体を捉えることが難しい
- ・見直し後の処方内容をかかりつけ医へフィードバックする体制が構築されていない
- ・患者の理解が得られない

等

図1 ポリファーマシーに対する理解度

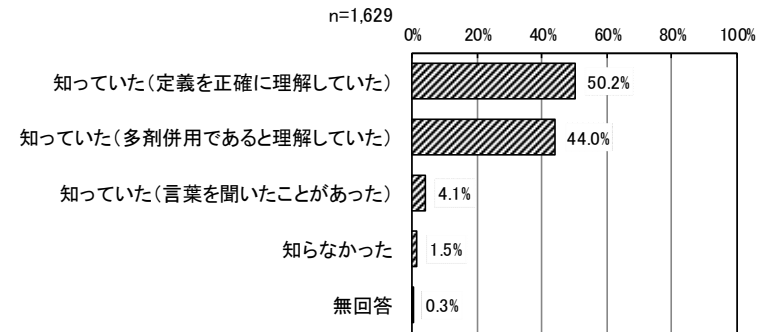


図2 指針に対する理解度

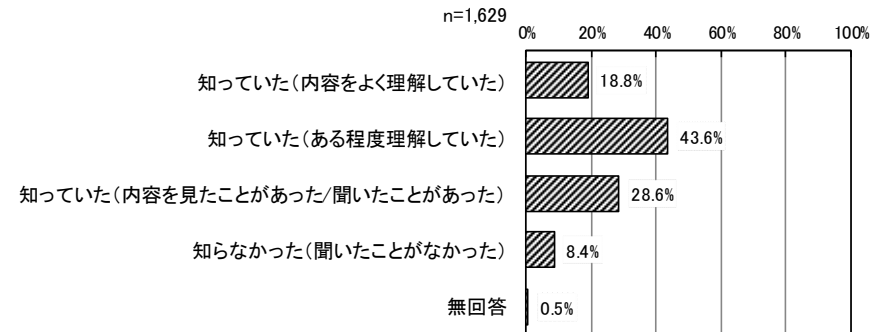


図3 手順書等の有無

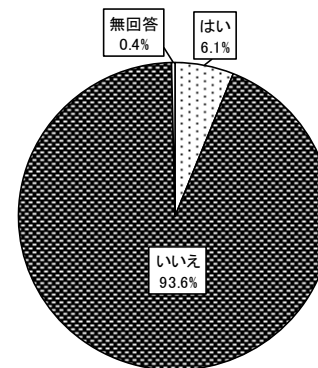
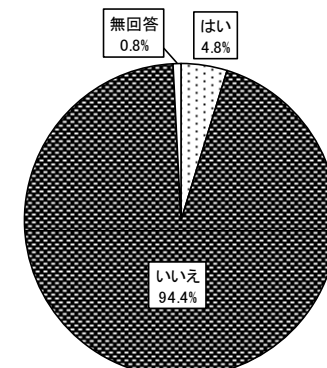


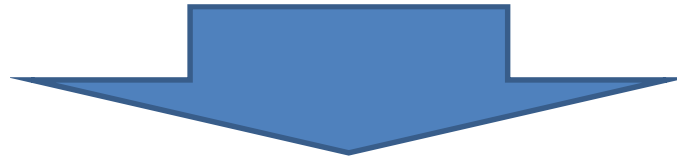
図4 個々の患者のポリファーマシー対応のための特別なカンファレンスが
行われているか



令和2年度の取組事項

現状・課題

- アンケート調査の結果からは、ポリファーマシー対策が十分に実施できているとは評価できない
- 好事例施設のような先進的な取り組みもあるが、そのまま自施設へ展開することは難しい面もある



医療機関で活用できる、より実践的なモデルや手順書といったツールが必要ではないか

R1年度: アンケート・好事例施設調査

- 100床以上の医療機関に対する実態調査
- 好事例施設の取り組み状況を調査

⇒現状の把握と課題の抽出



R2年度: スタートアップツールの作成

- ポリファーマシー対策を行う実際的なポイント
- 業務手順書のモックアップ

⇒R1年度の課題を解決するツールを作成

等